

公益財団法人盛岡観光コンベンション協会

令和2年度事業評価書

(令和2年度～令和6年度計画)

令和3年9月

事業運営計画事業一覧

【観光振興事業（公益目的事業）】

事業名	目 的	事業内容及び目標値						
(1) 広報宣伝 事業 重点施策 【A・B・C】	ホームページや全国紙，地方紙，ネット広告，空路・鉄道の各ターミナル地域の露出とし，県外客誘客を図る。 ホームページは，閲覧者数が頭打ちのため，英語での運用及び利用者の多いスマートフォン向け表示機能も追加し訪問者数増を図る。	観光イベント等情報の新聞やネット広告掲載及びホームページを活用し情報発信する事業。 指標：①新聞掲載回数 (当協会内事務局含) ②協会ホームページ訪問回数 (hellomorioka)						
		指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		指標①	5回	2回				10回
		指標②	158,774回	111,795回				212,000回
(2) 観光案内 事業 重点施策 【A】	観光客に盛岡市民が盛岡のまち並みや見どころを丁寧に案内し，盛岡の魅力を楽しんでいただくことにより，触れ合いを伴う印象的な観光振興を実現する。	市民観光ボランティアガイドが盛岡の魅力を組み込んだ「啄木・賢治青春の道」「先人と町家の道」ほかのコースにより，徒歩観光を楽しんでもらう事業。 指標： ①ふるさとガイドによる案内客数 ②岩山展望デッキ等利用者数						
		指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		指標①	2,107人	334人				2,500人
		指標②	43,325人	42,483人				45,000人
(3) 観光客誘致 促進事業 重点施策 【A・B・C】	盛岡及び盛岡広域圏へ国内外の観光客や修学旅行生などの誘致を図る。	誘致キャンペーンへの出展，ルートセールスによるPR・誘客活動及び各種イベント実施団体に対する支援を行い集客を図る事業。 指標①国内外観光客及び教育旅行誘致活動回数						
		指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		指標①	3回	1回				5回

<p>(4) まつり行事 振興事業</p> <p>重点施策 【A】</p>	<p>盛岡さんさ踊り振興協議会や山車運行委員会等の事務局として、伝統文化イベントやまつり行事に参画するとともに、その他の同様な行事支援育成及び県内外へのPRにより観光振興を図る。</p>	<p>各種まつり、伝統行事への支援、助成及び告知宣伝を行う事業。</p> <p>指標：</p> <p>① 支援・助成したまつり行事数（負担金・助成金交付）</p> <p>②さんさ団体派遣回数</p> <p>③盛岡山車参加者数</p>							
		指標	年度	令和元年度(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		指標①		13	2				13
		指標②		26	162				30
		指標③		652	—				700
<p>(5) フィルム コミッション事業</p> <p>重点施策 【A】</p>	<p>盛岡広域の観光資源を地元ブランドとして、テレビ、映画等の映像を通じて全国にPRし、誘客を図り観光振興につなげる。</p>	<p>映像制作関係者にロケ適地を紹介するほか、ロケ隊の現地案内、撮影許可支援等を行うことによりテレビ・映画等のロケを誘致する事業。</p> <p>指標：</p> <p>①ロケ全支援数</p> <p>②ロケ支援数（①のうち映画・テレビ）</p>							
		指標	年度	令和元年度(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		指標①		61件	50件				70件
		指標②		42件	25件				40件
<p>(6) 玉山地域 観光振興事業</p> <p>重点施策 【A】</p>	<p>玉山地域の観光資源について、広く周知し興味をもってもらいたいことにより誘客を図り観光振興につなげる。</p>	<p>1 啄木学級文の京(ふみのみやこ)講座 石川啄木終焉の地である東京都文京区において、啄木に造詣の深いゲストを招いての講演会を行うとともに盛岡市の特産品の紹介、販売、観光情報を提供するなど首都圏の住民に盛岡のPRを行う。</p> <p>2 啄木学級故郷(ふるさと)講座 石川啄木記念館敷地内にある旧洪民尋常小学校において、盛岡広域の住民を対象として啄木に造詣の深いゲストを招いての講演会を行う。</p> <p>3 姫神山やま開き</p>							

		<p>姫神山登山口において登山の安全祈願後、一斉登山を行い、優れた景観と自然環境をPRしながら観光振興に結びつける。</p> <p>指標：</p> <p>①啄木学級文の京講座参加者数</p> <p>②啄木学級故郷講座参加者数</p> <p>③姫神山やま開き参加者数</p>																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標 \ 年度</th> <th>令和元年度(実績)</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標①</td> <td>333人</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>350人</td> </tr> <tr> <td>指標②</td> <td>31人</td> <td>21人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>指標③</td> <td>1200人</td> <td>8人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,200人</td> </tr> </tbody> </table>	指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標①	333人	—				350人	指標②	31人	21人				35人	指標③	1200人	8人				1,200人
指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																								
指標①	333人	—				350人																								
指標②	31人	21人				35人																								
指標③	1200人	8人				1,200人																								
(7) 観光客受入体制整備事業	JNTO認定カテゴリー2の外国人案内所として、盛岡駅を利用する国内外の観光客や学会等で来県する人々に、県内と周辺広域圏の観光地・各種イベント情報を提供し、おもてなしの充実を図る。	<p>盛岡駅構内南口の「いわて・盛岡広域観光センター」において、観光案内や観光パンフレットの提供及び宿泊施設の紹介等を行い、来盛者の利便に供する事業</p> <p>指標：</p> <p>①いわて・盛岡広域センター対応者数</p>																												
重点施策【A・B・C】		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標 \ 年度</th> <th>令和元年度(実績)</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標①</td> <td>37,645人</td> <td>12,891人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>45,000人</td> </tr> </tbody> </table>	指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標①	37,645人	12,891人				45,000人														
指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																								
指標①	37,645人	12,891人				45,000人																								

【MICE 振興事業（公益目的事業）】

事業名	目的	事業内容及び目標値
(8) MICE 誘致支援事業	国内外の大会・学会を盛岡及び岩手県内に誘致し、成功に導くことにより地域経済の活性化に貢献する。	<p>1 各種誘致商談会へ盛岡ブースを出展するなどしコンベンション主催者及び旅行業者等へ誘致活動を行う事業</p> <p>2 観光パンフレットの提供、サポーター派遣等の大会支援事業 これらの事業を展開することにより誘致と大会成功につなげる。</p> <p>指標：</p> <p>①MICE誘致商談件数</p> <p>②コンベンションの支援件数</p> <p>③コンベンションの参加者数</p>
重点施策【B】		

		指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		指標①	73件	7件				90件
		指標②	89件	13件				120件
		指標③	52,092人	1,730人				75,000人
(9) 企画開発 情報収集事業 重点施策 【B】	<p>コンベンション開催調査を実施し、データベース化する。</p> <p>また、各種会議、研修会等において誘致・支援に必要な情報収集を行い、新たな誘致活動に活用するほか、郷土の特色を活かした企画提案に結びつける。</p>	<p>地元大学や各種団体の大会・学会主催者に開催に関するアンケートを行うとともに、個別訪問による情報収集を強化し、データベース化して誘致、支援に活用する。</p> <p>また、全国、東北規模で行われる各種連絡会議等に参加して情報収集し、地元のおもてなしメニュー(ユニークプログラム)を企画開発する。</p> <p>指標：①情報収集活動回数</p>						
		指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		指標①	4回	1件				6回
(10) 盛岡 MICE 助成金交付事業 重点施策 【B】	<p>助成金を交付することにより、より多くの MICE 開催を誘導を図る。</p>	<p>盛岡 MICE 助成金を交付し、地域活性化を図る。</p> <p>指標：</p> <p>① M I C E 助成金交付件数</p> <p>② M I C E 助成金対象参加者人数</p> <p>③ M I C E 助成金交付金額</p>						
		指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		指標①	22件	2件				32件
		指標②	14,799人	443人				21,000人
		指標③	14,050千円	40千円				26,000千円

【自主企画事業の展開などによる観光・文化の振興事業（公益目的事業）】

事業名	目的	事業内容及び目標値							
(11) 自主企画 事業の展開な どによる 観光・文化の 振興事業 重点施策 【A】	盛岡市から管理指定を受けている観光文化施設において自主企画事業を展開し、盛岡広域の観光・文化に興味や関心をもつていただくことにより観光客の誘致及び交流人口の拡大を図る。	1 盛岡市観光文化交流センター (1) 伝統芸能文化振興事業 地域に伝わる郷土芸能を固有の文化として継承させていくために、演舞機会と鑑賞機会を提供し、親しみを持って楽しんでいただく事業で、若年層等新規観客層の開拓を推進する。 (2) おでってシアター おでってホールの立地とステージ環境を効果的に活用し、地元アーティストの文化芸術活動を支援する文芸や音楽等のイベントを展開するとともに、ジャンルを超えた常連層の拡大を推進する。 2 もりおか啄木・賢治青春館 (1) 各種企画展 石川啄木や宮沢賢治をはじめ、地域に根差した人物、素材を活用し、絵画展や文学展等を企画開催し、通年で集客を図れるよう質の向上とリピーター確保を推進する。 (2) 各種コンサート 国重要文化財としてのブランドと良好な音響環境を持った建物の特性を活かし、弦楽器を主体としたコンサートを開催することにより、親近感のある場所として集客向上を推進する。 3 もりおか歴史文化館 当協会の観光アテンダントが「まちなか情報センター」及び「ミュージアムショップ」において、来館者に盛岡広域の観光、自然、各種観光施設を紹介するなど同館の受付機能を活用し広く観光案内を実施する。 指標：①交流センター自主事業の入場者数 ②青春館自主事業の参加者・入場者数 ③もりおか歴史文化館入館者数							
		指標	年度	令和元年度(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		指標①		901人	998人				900人
		指標②		20,172人	7,650人				20,000人
		指標③		216,999人	64,949人				220,000人

【施設の管理運営事業（収益事業）】

事業名	目的	事業内容及び目標値					
(12) 観光・文化 施設の管理運営 事業 重点施策 【A・D】	盛岡市から管理指定及び管理委託を受けている観光・文化施設において、観光案内など利用サービスの充実を図るとともに施設の適切な維持管理を行い利用者が快適に過ごせるようにする。	1 盛岡市観光文化交流センター ・観光文化情報プラザにおいて、国内外の観光客や修学旅行生等に対し、盛岡広域の観光情報の提供やまち歩き観光の魅力を紹介するほか、観光相談・助言を行うなど総合的な観光案内を実施する。 ・ホール、ギャラリー、会議室等について、貸室業務を行うとともに利用者増につながるようPRを行う。 ・施設について、効率的で、かつ安全、衛生面に配慮した維持・管理を行う。 2 もりおか啄木・賢治青春館 ・物販コーナーにおいて、石川啄木・宮沢賢治に関する書籍や絵葉書、土産用観光グッズを販売する。 ・観光客等の懇談、休憩場所として喫茶コーナーを管理運営する。 ・施設について、効率的で、かつ安全、衛生面に配慮した維持・管理を行う。 3 啄木新婚の家 ・市内唯一の武家屋敷という貴重な文化施設として、また市内観光ルートの名所の一つとして、盛岡市から管理受託（単年度）する啄木新婚の家について、適切な管理運営を行う。 指標：①盛岡市観光文化交流センター入館者数 ②もりおか啄木・賢治青春館入館者数 ③啄木新婚の家入館者数					
	指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	指標①	104,838人	39,339人				110,000人
	指標②	40,112人	26,584人				42,000人
	指標③	15,744	6,473人				17,000人

【収益に関する事業（収益事業）】

事業名	目的	事業内容及び目標値						
(13) 収益に関する事業 重点施策 【A・B・C・D】	観光の振興及び交流人口の拡大を図り、もって地域の経済活性化と文化の向上に寄与するという目的を達成するため、収益事業による利益の一部を公益事業で使用するものである。	1 観光文化情報プラザにおける観光グッズ販売事業、プレイガイド事業、レンタサイクル事業 2 推薦の店標識貸与事業・接遇研修等 指標：① 観光文化情報プラザ利用者数 ② 接遇研修参加者数（延べ） ③ 推薦の店加盟会員数						
		指標\年度	令和元年度(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		指標①	36,327人	13,136人				37,000人
		指標②	155人	54人				160人
		指標③	115会員	111会員				150会員

令和2年度事業評価総括

1 総務部門

コロナ感染症影響拡大を勘案し、賛助会費について官公庁等を除き、原則半額としたため大幅な収入減となった。また接遇研修においては国の支援を得て参加人数を制限しながらアフターコロナ対応のインバウンド対応能力強化研修を実施した。

今後においては、アフターコロナ・ウィズコロナに向けて、効果的な事業運営に努めて目標数値のV字回復を目指すとともに、協会全体の事務の効率化をはかり経費の削減に努めていきたい。

2 企画部門

コロナの影響により、観光客及び修学旅行生等による施設利用(おでって・青春館)が激減し入館者実績が大きく落ち込んだ。開催を予定していた文化催事も実施見送りとなるなど低迷したものの、プラザおでって開館20周年記念として実施したギャラリー事業が好評で客足を伸ばした。青春館にて開催した美術展等を含め、展覧型イベントは飛沫感染等のリスクが比較的低く、一定数の集客実績とともに開催効果を生み出したものと思われる。

3 観光部門

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、諸事業が中止や規模縮小もしくは事業内容を転換した形での執行を迫られた。とりわけ、観光客に密に接してご案内する市民観光ボランティア「盛岡ふるさとガイド」事業では、200mの距離でも明瞭にガイド音声聞き取られるトラベルイヤホンを市の補助事業で導入し、学校や旅行代理店から好評を得るなど「新しい観光の様式」を具現化する取り組みも実施した。

一方、修学旅行では、コロナの蔓延している目的地を変更する動きも顕著であって、例年とは異なる地域からの来訪が相次ぐなど異変が起きている。インバウンドについては国が往来を制限していることや定期国際チャーター便も運行中止を延長していることから、国内在留外国人のみの周遊行動が観察されている。一方、震災復興10年を契機とする東北デスティネーションキャンペーン事業の前哨戦として、つなぎ温泉観光協会が宿泊客に対する披露を目的に盛岡さんさ踊りショーを常設イベントとして設置し開始するにあたり、盛岡さんさ踊り振興協議会に対し伝統さんさ踊り団体の出演依頼があり、これに協力したことで派遣回数が増加した。

コロナウィルスの影響を受け、市中の観光施設にあっても経済的な打撃が大きいことから、賛助会員を対象にした「お弁当マルシェ」と銘打ったテイクアウトのテントイベントを、指定管理しているプラザおでって広場を無償提供して実施したほか、賛助会員の営業状況についてお知らせするサイトの特設公開して経済循環と情報提供行動をとっている。

4 コンベンション部門

令和2年度当初は前年度を上回るMICE助成金申請(25件)があったが、新型コロナウイルス感染防止のため、学会等の多くが中止もしくはオンライン開催に変更となり、結果コンベンション支援数がMICE助成金支援(2件)を含めて13件となった。

盛岡広域フィルムコミッションの支援については、新型コロナウイルス感染症の影響により、映画、テレビの支援件数は前年度より減少したがCM、動画サイト等の支援件数は増加した。今後このような形態の支援が増えてくる可能性がある。